



建築物総合環境計画概要書 新築

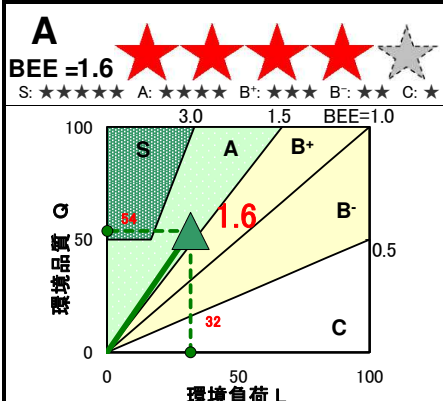
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

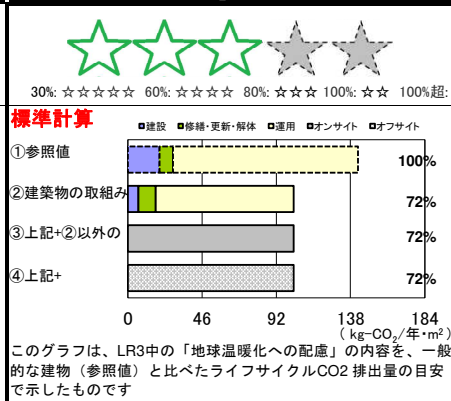
建物名称	(仮称)天王寺区松ヶ鼻町プロジェクト 新築工事		
建設地	天王寺区松ヶ鼻町		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,388.04	m ²	
建築面積	426.21	m ²	
延床面積	5,365.49	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上18階
完了年(予定)	2027年2月		

1-2 外観

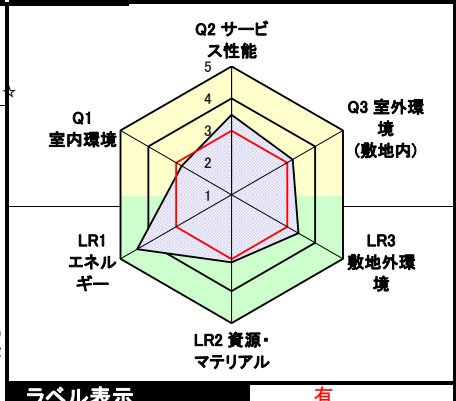
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

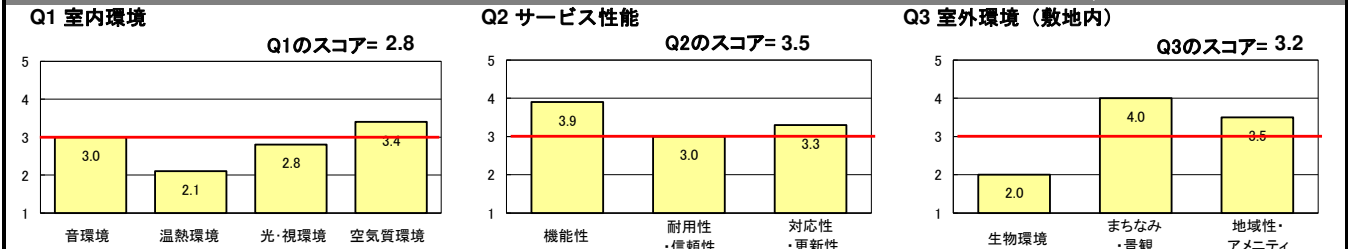


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

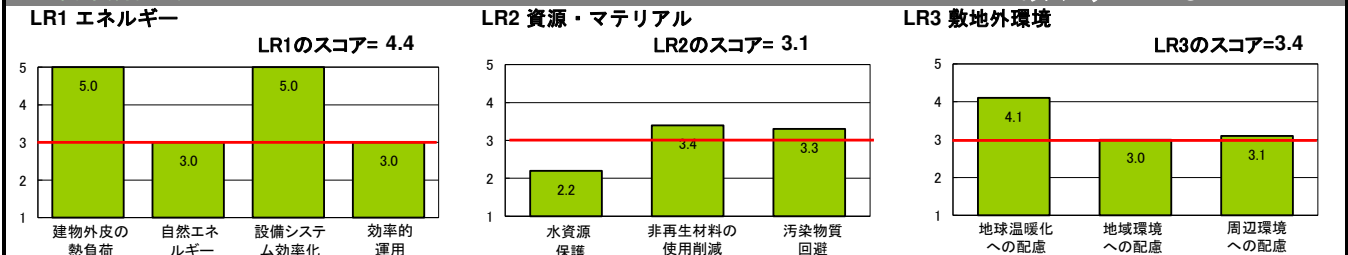


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合

良好な都市環境を形成し、周辺の街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努め、ZEH-M Orientedを満たす計画とした。

その他

特になし

Q1 室内環境

外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱性能等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。また、建築材料にはほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。

LR1 エネルギー

適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。またLED照明を採用するなど設備システムの効率化にも取り組んだ。

Q2 サービス性能

耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。また各住戸にGbitクラスのブロードバンド設備を整備し快適な通信環境となるよう努めた。

LR2 資源・マテリアル

有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。また躯体材料以外にはリサイクル材を使用するよう努めた。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO₂削減率に貢献できるように努める計画とした。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 4.1
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率の削減に努めた。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 4.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	気象台既存データを用いて風向風速卓越風などの風環境を把握している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5の水準とし、熱損失・熱取得の低減に努めた。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し、省エネルギーに配慮している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当) 非住宅部分[BPI][BPI_m] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.75 住宅部分[BEI] 0.75 非住宅部分[BEI][BEI_m] -